

県立多治見病院 緩和ケア病棟便り

2026年2月号

発行：岐阜県立多治見病院緩和ケア病棟

【イベント予定】

岐阜県立多治見病院 緩和ケア病棟 行事予定表



2026年 2月



日	月	火	水	木	金	土
1	2 14時～ マジックショー	3 15時～ ティーサービス	4 14時～ 音楽療法	5 14時～ ふれあい喫茶	6 14時～アロママッサージ	7
8	9 14時～ピアノ演奏	10 14時～ピアノ演奏(連弾) 15時～ ティーサービス	11 建国記念日	12 14時～ 讃美歌とピアノ	13	14
15	16 14時～ 音楽療法	17 14時～ 園芸療法 15時～ ティーサービス	18 14時～三線	19 14時～ ふれあい喫茶	20	21
22	23 天皇誕生日	24 15時～ ティーサービス	25 14時～ ハーモニカ演奏	26 14時～ ハープ演奏	27 14時～ 法話	28 14時～アニマルセラピー(がんも)
		※病棟のイベントは、緩和ケア病棟を退院した患者さんやその家族も参加できます。 都合により参加できない場合や中止の場合もあります。お電話か以下のメールでご確認ください。 電話：0572-22-5311（内線：7493 緩和ケア病棟師長） メール：kanwa@tajimi-hospital.jp				

【コラム】

《『交番の交代時の夜寒哉』正岡子規》



交番の源流は1887年(明治7年)に誕生した『交番所』と言われています。当初は警察官が交代で立っていましたが、その後、建物に詰めるようになりました。日本では地域に根ざした防犯制度と評価が高く、インドやブラジルなどで『KOBAN』として建物が立つようになったようです。

先日テレビで2024年元旦、能登半島地震で被害に見舞われた石川県輪島市で2月1日ガス灯の点灯式が放送されていました。1995年の阪神大震災の犠牲者を追悼するために、神戸市東遊園地でともされているガス灯『1.17 希望の灯』の火が分灯されて運ばれてともされました。灯りを繋いで欲しいと思いました。

世界気象機関(WHO)が2025年の世界平均気温を発表しました。産業革命前(1850年～1900年)から1.44度の上昇となり、2024年(1位)、2023年(2位)に次いで3番目に高い数字となりました。この3年間、人類史上最も暑い時期を生きていることとなります。昨年も私たちはすでに体感しています。気候崩壊の真の脅威はこれからやってきます。熱中症リスクの増大、豪雨、台風の被害、屋外活動の制約、生活コストの上昇などいろいろ考えられます。日本だけではなく世界レベルで取り組み、早急に考えていかなければなりません。私としては身の回りで、私に何かできるか考えていきたいと思っています。皆さまも考える機会になれば嬉しいです。



ボランティアコーディネーター：河村銘子